

テトラパックのベルマーク運動 リサイクル推進ありがとうキャンペーン



福岡県筑紫野市 武蔵台高等学校

活動の狙い・ポイント：(一)ひと手間 ⇒ ECOLOGY
(人)

活動の内容と、その成果

本校保健委員会が行っていた「1110活動」^{イトイレ}のなかで、擬音装置をつけて欲しいという意見が多く出ていたことから、「自分たちの力で設置しよう」を目標にベルマーク回収を開始しました。そんなとき、テトラパックがベルマークの協賛に参加したことを知り、確実に、かつ、みんなで一緒に取り組める活動として早速実行しました。

教室や部室のゴミの分別や紙容器の開き方などを強く呼びかけ、校内に浸透しつつあります。掃除時間に回収、放課後に「開いて、洗って、乾かして」の作業は、保健委員同士のコミュニケーションの場にもなっています。また、教室では「学校じゃないところでも、飲み終わると自然に開いてしまう(＾o＾)」といった声も聞かれます。習慣化してきていることが実感でき嬉しく思います。

高校生は、何をするにも面倒くさいと手間をかけることを嫌がる傾向にあります。しかし、この一連の作業を通して、「手間」をかけなければ何も始まらないということに気がつきました。最初は、汚いし、臭いしと、作業を淡々とこなすだけで、正直苦痛でした。しかし、溜まっていくにつれ、自分たちの行動が形となり、成果が見えてきて楽しくなりました。また、東日本大震災等の援助の一部になっていることを知り、ますます、紙容器1枚1枚の重みや作業の「(一)ひと(人)手間」の意義を考えさせられました。これからも、生徒会や友人たち、先生方の力を借りながら、活動を続けていきたいと思っています。(保健委員会)

